

生田緑地のクロコノマチョウ

山本 晃*¹

Melanitis phedima in Ikuta-Ryokuchi park KAWASAKI City

Akira Yamamoto

クロコノマチョウ (*Melanitis phedima oitensis* Matsumura) は分布を広げている事で、注目されている蝶である。

岸 (1998) によると、神奈川県内では1990年代に入ってから、発生が記録され、以後湘南地区では毎年発生が続いている。

川崎市でのクロコノマチョウの目撃記録はあるものの発生記録はなかった。

今回生田緑地での発生を確認したので、記録として報告する。

採集者及び目撃は全て山本晃によるものである。

2♂.2exs(目撃), 21.X.1999,多摩区枳形
2♂.3♀. 10数exs(目撃), 29.X.1999,多摩区枳形
1蛹.5exs(目撃),3.XI.1999,多摩区枳形

発生地は、生田緑地内の谷戸休耕田で、ジュズダマが食草となっており、約50個の羽化殻を確認した。

参考文献

- ・岸一弘 (1998) 温暖化が神奈川県のコウマツノチョウ相を変える. 昆虫と自然.33(14):9-10.
- ・岸一弘 (1999) 神奈川県のコロコノマチョウ. 神奈川県虫報(127):1-7. (神奈川県昆虫談話会)
- ・西田考治・岩田芳美・高橋小百合・昆虫班 (1998) 生田緑地の昆虫 (チョウ類・トンボ類).川崎市青少年科学館紀要(9),pp.41-42.
- ・白水 隆監修 (1981) 原色日本昆虫生態図鑑・チョウ編 (保育社)



図1. ジュズダマにとまるクロコノマチョウ



図2. クロコノマチョウのサナギ

* 1 かわさき自然調査団